

# 農林水産委員会 県外所管事務調査調査報告書

## ◆調査日程

令和4年11月15日（火）～17日（木）

## ◆調査先・調査内容

### ①有限会社信州うえだファーム（長野県上田市殿城）

調査内容：耕作放棄地対策、新規就農者育成について

信州うえだファームは、JA信州うえだの子会社として平成12年（2000年）に設立された。会社の事業方針はJA自らが農業経営を行うという地域の担い手としての役割を果たしながら、地域農業の中にJAによる農業経営を位置づけ、地域にさまざまな波及効果が発揮できる活動を通じ、地域農業振興および地域活性化に貢献できる取り組みをすすめるというものである。

事業としては、①新たな担い手への受け渡しを前提に荒廃地を復旧させリンゴやワイン用ブドウなどの造成を行う耕作放棄地の再生・利用、②地域農業の担い手を増やすために新たに農家になりたい人を研修生として受け入れる新規就農者の育成などに取り組んでいる。

その取組は対外的にも評価されており、過去には、全国農業会議所が主催する第9回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業で農林水産大臣賞を受賞している。

今回の視察では、主要事業である耕作放棄地対策と新規就農支援の取組について調査を行った。

<主な質疑>

- ・受託面積が増えた経過について
- ・新規就農希望者の品目について
- ・企業参入と外国人実習生について



### ②長野県議会（長野県長野市）

調査内容：長野県の種子農作物などについて

長野県は、冬の厳しい寒さや冷涼で昼夜の寒暖差が激しい気候を利用し、米や園芸野菜など多彩な農作物が生産されていることから、加工品の生産も盛んで、特に味噌の生産量は全国トップとなっている。当県ではそれら種子農作物の安定供給に係る法令整備にいち早く取り組んでおり、平成30年4月1日に稲、麦、大豆の種子の生産を都道府県に義務づけた「主要農作物種子法」が廃止されたことを受けて、「長野県主要農作物の種子生産に係る基本要綱」を制定、さらに、将来にわたって主要農作物等の種子の安定供給の仕組みをより確実なものにするため、令和2年に条例の制定及びビジョンを策定している。種子法では対象とする作物が「稲・麦類・大豆」だったが、条例では「そば・信州の伝統野菜等」が新たに加わった。当県では、条例・基本要綱・ビジョン、そして産地においては種場の産地強化計画を作る中で、総合的に県全体の種場を維持すべく進めている。種子条例については種子法が廃止されて以降、全国的に制定する県が増えていることから、条例制定に至った背景や現在の取組状況について調査を行った。

今回の視察では、①長野県の種子農作物についてのほか、②長野県の中山間地域の整備について、③長野県の集落営農について、④コロナ禍における長野県の農林水産業への影響について、⑤

<主な質疑>

- ・条例制定における民間団体からの要望の有無について
- ・長野県の農家戸数の推移について
- ・新型コロナウイルス第8波に対する支援について



### ③桜井甘精堂（長野県小布施町）

調査内容：桜井甘精堂のブランドの成り立ちについて

桜井甘精堂は、文化5年（1808年）創業で、200年の歴史を誇る栗菓子屋である。直営店は、小布施町内4店舗、長野市内2店舗の計6店舗で展開しており、それぞれの直営店で客層の滞在時間を踏まえてコンセプトなどを変えているのが特徴である。

今回の視察では、栗菓子の製造工程を視察するとともに、桜井甘精堂が現在の形に至るまでの過程を様々な栗菓子の誕生秘話とともに説明を受け、桜井甘精堂のブランドの成り立ちについて調査

- ＜主な質疑＞
- ・小布施町内における栗の栽培面積について
  - ・桜井甘精堂の名前の由来について



### ④小布施町（長野県小布施町）

調査内容：町民参加のまちづくりや地域の特性を生かしたブランド戦略について

小布施町は、半径2キロメートルの中に全ての集落が入る長野県で一番小さな町であり、この中に北斎館をはじめとしたさまざまな美術館や美しい町並みが凝縮されている。600年の歴史を持つ小布施栗は江戸時代には将軍家への献上品とされるなどその質の高さから全国に名を馳せる小布施町の特産である。また、栗以外にも、ブドウやリンゴ、桃など高品質な果樹の産地でもある。

町民参加による花によるまちづくりも盛んで、各家庭をはじめ町の要所には住民自らが手掛ける花壇などが置かれている。また、小布施町は江戸時代から訪れた画人や文人を魅了し、葛飾北斎などが多くの作品を残している。これらの作品を展示する北斎館や周辺の町並みは、景観に趣を置いた落ち着いた空間となっている。さらに最近では、スラックラインやボルダリングなどの若者を呼び込む仕掛けも加わり、全国から多くの観光客が訪れている。

今回の調査では、コンパクトな小布施町内の街歩きやリンゴ農園の視察を行うとともに、小布施町の町民参加のまちづくりや地域の特性を生かしたブランド戦略などについて調査を行った。

- ＜主な質疑＞
- ・小布施町の人口維持の要因について
  - ・町営住宅での移住者の募集について

